

授業分析

指導者 広島県山県郡安芸太田町立戸河内中学校 原田 優次
日時 平成26年10月10日(3~4校時)
学級 第3学年1組 男子15名 女子 8名 計23名(欠席1名)
授業 道徳
内容 4(5) 勤労と奉仕
教材名 一志の弁当(自作資料)

- ① 主発問に対する生徒回答文中の、「道徳的価値」等に関わる記述数を、学習前後で比較した。学習によって、記述数は、1人あたり0.9から2.5に増加した。
- ② 主発問に対する回答の記述量は、学習前後で大きく変化した。資料や話し合いを通して、自分の言葉で表現できるまでに、知の練り上げがあったと推測される。
- ③ この教材の主な「ねらい」であった「勤労の尊さや意義」「奉仕の精神」等に関わる記述を感想に書いた生徒は、22名中20名である。(B6・Q8以外の生徒)
- ④ メタ認知的な評価として、「道徳的価値に対する思考の深まり」や「価値の自覚に対する自己評価」を行わせたのが②③である。この質問に対して、22名中21名が5を回答した。
- ⑤ 授業に対する総合的な評価である④の問いに対しては、全員が5を回答した。
- ⑥ 主発問について資料を基に考え、仲間と話し合う過程で、「働く」ことに関する多様な価値に気づき、「大切なことを学んだ」と多くの生徒が感じている。 P1 S21
- ⑦ 「好きな仕事につく。楽しい仕事につく。」といった与えられるものに対する要求(4人)から、「好きになる。楽しくする。」といった自分が主体的に意識を変えていこうとする回答(8人)が増えた。楽しい仕事を求めるのではなく、自分が仕事を楽しくしたり、自分が仕事を好きになったりといった能動的な意識が目覚めている。 最初 E15 L20 T7 V19
最後 A3 J4 K10 N17 T7 O23 U16 V19
- ⑧ 身の回りの多くの大人が、夢だった仕事についているわけではないが、それでも最善を尽くしていることを、新鮮な驚きをもって受け止めた。その事実を再確認して、仕事をする大人に対する尊敬や感謝の思いを深めている。 B6 C12 G5 H13 N17 P23 V19
- ⑨ 目標を持つことが、仕事を続けていくためには必要だと多くの生徒が感じている。今、自分ができることを確実にやっていくことが、達成感につながることを部活動の体験等から推測している。
- ⑩ 「夢を追うだけでは行き詰まる。理想と現実を区別して、簡単に投げ出さないで辛抱してみる」といった、多くの大人が労働の中で体験している感情に共感している。(2班・3班)
D2 E11 G5 H13 I22
- ⑪ 「黙々と働く大人がかっこいい」と思える感情が育っている。仕事を通して誰かの役に立つこと、すなわち「勤労の尊さ」に素直に共感している。価値を押し付けられたという意識はない。
C12 E11 P1 R9 U16
- ⑫ 話し合いの中で、「人の笑顔を生きがいにする。お客さんに喜んでもらえたら嬉しい。」といった言葉が自然に語られ、受け入れられている。

⑬ 父母の仕事に考えをさせた生徒もおり、授業を通して感謝の思いを深めている。

H13 S21 V19 (F15)

⑭ 小さなラーメン店を一人で経営し、女手一つで三人の娘を育てた母の一言を、今回の授業で思い起こした生徒がいる。狭い厨房で吹き出る汗と闘う肉体労働・単純作業であり、生徒はとても大変な仕事だと感じてきた。にもかかわらず、「子どもの笑顔が見られるから」と、さらりと語った母の心情を深く受け止める事ができた。 H13

⑮ ジグソー活動の中で、自分のこだわりを持ち、活発な議論をするグループが見られた。「やはり給料は大切」という意見と「給料以上に大事なものがある」等の意見対立は休憩時間も議論が続くほどだった。 D2 F15

⑯ 授業の最後に生徒に書かせた感想は、3分間で一気に書き上げたものである。そのため、その瞬間に浮かんだ、最も印象深かった場面や思いが綴られている。良く言えば本音であり、飾り気がない。

.....

知識構成型ジグソー法の形態でこの教材を扱うのは初めてであり、話し合いを通して生徒から語られる意見の想定が甘かった。主発問に対して、「目標」を多くの班があげてくれることを指導者は予想できていなかった。

⑰ 多くのグループから出た「目標」の中身をクロストークで話し合わせれば、より充実した授業にできたのではないかと反省している。商品やサービスづくり、家族を支える、人を笑顔にする等、幅広い「目標」の捉え方をさせたかった。

⑱ 本資料作成にあたって、コンビニエンスストア等に弁当を納入する(株)デリカウイング社長、細川匡氏に相談させて頂く機会を得た。年商140億円の企業を一代で築いた方であるが、自らの体験を踏まえた貴重な話を聞く事ができた。

「私のモットーは **Happy Together**。人を喜ばせたり、驚かせたりすることが大好きなんです。自分の夢（目標）は人を喜ばせる事。私は夢だった仕事にはつきませんでした。でも、仕事は何だっていい。どんな仕事だって人を幸せにできるはず。何の仕事に就くか、好きな仕事に就けるかといった事より、その方が大切ではないですかね。」

その話を紹介して、「人を幸せにする、人の役に立つことを目標にできるだろうか」と問いかけ、考えさせれば良かったと反省している。

.....
より多くの先生方に「知識構成型ジグソー法を活用した道徳科」の良さを認めて頂くため、授業の様子や、学びの実態、生徒の変容等を資料にまとめた。今後の教材開発や、学習の評価、分析にもこのような手法を活用していきたいと考えている。教材と授業分析で、不十分な点を指摘頂き、今後役に立たい。
.....

【道徳教育の目標】

道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。

【道徳の時間の目標】

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成するものとする。